

青少年は
地域社会から
はぐくむ
～愛のひと声運動～



発行
福島市青少年センター
福島市青少年センター補導委員会
福島市宮下町1番15号
TEL 535-7310
FAX 535-7310

～青少年健全育成のために～ 街頭補導活動を実施しています

福島市から委嘱された補導委員123名が、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことを目的として、学校や駅前周辺などを中心に巡回活動を行っています。
青少年を見守り、健やかに成長できるように思いやりをもって愛の一声をかけています。

子どもたちを信じて

福島市青少年センター補導委員会



会長
佐藤 達哉

猛威を振るったコロナも令和5年5月に5類移行となりました。それと同時に今度は熱中症の心配をする日々が続くこととなりました。海外では相変わらず戦争や紛争が続き、子どもたちを含む犠牲者は日々増加していきました。また隣国からのミサイル発射はもはや日常になった感があります。国内では新年早々、大規模地震や航空機事故が発生しました。我々はいつ何時何が起きてもおかしくない時代に生きていることを思い知らされました。

「漠然とした日常の不安」。誰しもが多少少ななれ感じていることではないでしょうか。平凡な日々。普通の生活。何気ない日常がいかに大切であるかを、今更ながら感じた年でもありました。

青少年を取り巻く環境はといえ、我々の子ども時代とは比べべくもありませんが、基本的に少子化・核家族化であり、ひとり親世帯も多いと聞いています。また情報化の進展に伴い、スマートフォン等の端末

からインターネット上の有害な情報へも簡単に触れることが可能となっており、青少年の意識や行動に影響を及ぼすことが懸念されています。昔は「屋外」で「集団」だったものが今では「室内」で「個人」型になっているとも言われています。引きこもり等様々な問題も発生しています。

このような中で我々補導委員は、日々街なかを巡回し機会を捉えては子どもたちに声をかけを行っています。「こんにちは」「気をつけてね」明るい未来を信じて、子どもたちを信じて、今後も活動して参ります。

通常補導活動

学校周辺のほか福島駅前の娯楽施設やアオウゼ、こむこむなど学校帰りに子どもたちが集まりそうなところを重点的に巡回しています。道行く子どもたちに「気をつけて帰るんだよ」など愛の一声をかけています。夜間には自転車の灯火指導も行っています。



福島駅周辺での補導活動



愛のひと声運動

環境浄化活動

青少年の目に触れさせたくない成人向け雑誌などを回収するため、福島駅など市内6か所に白ポストを設置し、定期的に回収・処分を行っています。青少年健全育成のための環境を整えることも補導委員の活動の一つです。



白ポストの回収

特別補導活動



稲荷神社例大祭特別補導

お祭りやイベントの際に会場周辺の巡回を行います。

令和5年は、4年ぶりに通常開催された「花火大会」・「わら

じ祭り」・「福島稲荷神社秋の例大祭」の時に補導活動を行いました。露店の陰や、暗がりでは不健全な状況はないか？子どもたちに声をかけながらの補導活動です。

警察官・PTA・教職員など、様々な立場の方々が子どもたちの安全のため活動していることを再確認し、我々もその一助となればという気持ちで頑張っています。

〈 各 方 部 か ら の 活 動 報 告 〉

中央地区

午後の部は、8班で毎月2回、学校周辺や福島駅前の娯楽施設やアオウゼ等を巡回しています。

最近の事案としては、巡回中にしつこい勧誘に遭い困惑している女子高校生を無事に帰宅させることができ安堵しました。

また、西口で発生した傷害事件では、男子高校生の咄嗟の判断と勇気ある行動にとても驚きました。

私がその場に居合わせたら、足がすくんで何もできなかったのではないかと思います。傷害事件や盗撮行為は、よそ事と思っていましたが、身近なところでも起こり得ることだと改めて感じました。

危険な行為や悪質な犯罪から身を守るべく、ただ単に巡回して歩くのではなく、目配り・気配り・一声かけることが大事であることを再認識しました。

中央地区 阿部喜美子

飯坂方部

5名の新任委員が加わり、新たな気持ちで全15名が活動しています。飯坂管内はもちろんのこと、十六沼公園やイオン福島店のゲームコーナーなど、子どもたちが多く集まる場所を中心に巡回しています。また、福島北警察署の協力を得て、福島北高校での非行防止チラシの配布やパトカーとの連携補導等も独自に行っています。

飯坂方部の活動はアットホームな雰囲気特長で、懇親会や親睦旅行等でも交流を深めています。巡回中、子どもを見かけることが少なくなってきましたが、青色ジャンパーの着用、非行防止テープを流しながらの広報車巡回により、地域内で見守っている大人の存在を広く知っていただくことが、子どもたちの健全育成につながっていると信じ活動を続けています。

飯坂方部 菱沼 喜雄

松川方部

松川・金谷川・水原・下川崎の4地区10名で活動しています。月1回交互に金谷川駅と松川駅であいさつ運動を実施し、地域住民とコミュニケーションを図るほか、年2回金谷川駅前に設置されている白ポストの回収を行っています。

また新型コロナウイルスの5類移行を踏まえ、夏祭りや盆踊り、提灯祭りなどの地域行事の補導活動を実施し、さらに松川駐在所と連携して夏休みに夜のパトロールを行いました。補導活動を通して子どもたちが楽しそうに参加し安心して過ごしているのを見ると、地域の子どもたちの安全を守るうえで補導委員が果たす役割の大きさを実感します。今後も地域の子どもは地域の大人が守るといふ理念のもと、活動を続けていこうと思います。

松川方部 加藤 行郎

信夫方部

10名の補導委員が月2回活動を行っています。私は今年で9年目ですが、お陰様で巡回中に主だった事件・事故には出遭いませんでした。しかし「寸善尺魔」世の中には、良い事が少なく、悪い事の方が多いように思われます。

信夫地区の家電量販店を巡回し、店員の方にお話を伺うと、万引きの被害があるとの事でした。店舗側からすると、私たちの巡回は大きな抑止力となり歓迎されているようでした。こんな話を伺うと私たちの活動も地域に貢献していると感じ、モチベーションも上がります。「後世畏るべし」。青少年の未来の為に、この活動が大切だと認識させられ、今後も続けていきたいと考えます。

信夫方部 横山 忠則

吾妻方部

吾妻方部は、野田・庭塚・庭塚及び水保の4地区10名で、地区ごとに月1回の巡回活動を実施しています。今年度は新型コロナウイルスの5類移行に伴い、行事等も活発に開催されましたが、特に問題もなく経過しています。

さて、地区内では近年、ご多分に漏れずクマが出没し、大変困っています。さらには、高齢者の行方不明事案が多発しています。そんな中、昨年暮れには野田地区内の10代の生徒が行方不明になり、翌日無事発見されるといふ事案が

発生しました。これらのことを鑑みて、最悪の結果を未然に防ぐためには、地域内の様々なコミュニケーションが、垣根を取り払い、綿密に連携することが肝要であると考えられています。

吾妻方部 吉野 清隆

飯野方部

2名で活動しています。が、3年目となり青色のジャンパーも身体に馴染んで来ました。

少人数ですが飯野駐在所及び関係団体の協力をいただきながら月2回の通常補導活動と各種イベントで非行防止のチラシ配布と声かけによる補導活動を実施しています。特に現在は小学生の頃からスマホを持ち歩いているため、予期せぬ事件に巻き込まれないように注意喚起をしています。

飯野方部 齋藤 秀謙